

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:滋賀県栗東市

1. 事業名	りっとうつながりサポート事業								
2. 実施期間	令和3年10月1日 ~ 令和4年3月31日								
3. 事業の趣旨・目的	日常生活等に困難や不安を抱える女性を支援していくために、相談事業を展開し、困難や不安等の軽減を図るとともに、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により浮き彫りとなってきた「生理の貧困」問題に対する支援を関係機関や関係部署と連携しながら、問題の解消に向けて取り組む。また、相談事業を通して、「生理の貧困」問題に直面する女性の実態を把握し、今後の支援策等に繋げていく。								
4. 事業内容	①日常生活等に困難や不安を抱える女性を支援していくために、栗東市社会福祉協議会へ相談事業を委託し、困難や不安等の軽減を図る。 ②また、相談内容によっては、必要に応じて各種専門機関などに繋げる。 ③相談事業を通して、「生理の貧困」問題に直面する女性の実態を把握し、生理用品の配布を行う。								
5. 事業効果及び効果検証の概要	○本事業実施により、コロナ禍で日常生活に困難や不安を抱える女性に対して、相談事業の展開、サロン開催による居場所の提供、それに付随した生理用品の提供を行うことで、不安等の軽減を図る一助となったと推察される。 ○市ホームページ上で生理の貧困に関するアンケート調査の実施により、「直近1年以内で生理用品の購入・入手に苦労していた」と回答した割合は10.7%（「毎回苦労した」と「ときどき苦労した」と回答したものを併せて）であった。								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	○女性に対する相談事業は、金銭面の相談内容が多く見られたが、コロナ禍により経済的負担が増大している女性に対し、委託先となる社会福祉協議会の経済支援策等を併せて活用することで、負担軽減を図ることができたと評価できる。 ○生理用品提供数は、当初目標としていた数値より低くはなったものの、提供窓口の拡充や市庁舎内トイレに設置するなど、生理用品を受け取りやすいよう工夫することで提供を進めることができたことと評価できる。								
7. 今後の課題	今後、生理の貧困も含め、コロナ禍の影響を大きく受けた女性に対する支援を継続的に実施していく必要がある。また、生理の問題はこれまでタブー視されてきた問題であるため、本事業をきっかけに更に理解促進していく必要がある。								
8. 事業の実施体制	栗東市社会福祉協議会へ本事業を委託し、連携及び調整を行い、円滑に事業を実施するとともに、市関係部署・関係機関・市立小中学校・市内医療機関等と連携を図り、事業実施に伴う連携及び情報共有や事業周知を図った。 また、県内市町との情報共有を図った。								
9. 経費の内訳 (単位:円)									
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考
1	りっとうつながりサポート事業	5	3年度補正予算	2年度補正予算	2,271,032	1,703,000	0	568,032	(委託先)栗東市社会福祉協議会(委託金額)2,271,032円
					0				
					0				
					0				
	合計				2,271,032	1,703,000	0	568,032	
10. 担当者名及び連絡先	所属部署:市長公室 自治振興課 男女共同参画推進係 電話番号:077-551-0290 電子メールアドレス:jichishinko@city.ritto.lg.jp								
11. 事業実施及び連携工程	様式4-2-1に記載								

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-2-2と整合性をとって記載してください。

注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)、(5)又は第4【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)、(5)から選択してください。

注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「2年度当初予算」、「2年度補正予算」、「3年度当初予算」のいずれかを記載してください。

注4)「9. 経費の内訳」の交付決定事業について、「2年度当初予算」、「2年度補正予算」、「3年度当初予算」のいずれかを記載してください。

注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。